

平成 28 年度 JICA コミュニティ防災研修(A)  
- JICA Community-based Disaster Risk Reduction (A)-



研 修 期 間：平成 28 年 10 月 11 日～11 月 18 日  
(6 週間)

研 修 場 所：神戸市/宮城県/岩手県/徳島県

研 修 内 容：参加研修員の自国におけるコミュニティの、自然災害に対する防災力の向上に  
役立てるための講義/視察

参加研修員：8ヶ国 11名

(バングラディッシュ(1)、ブータン(1)、  
チリ(1)、インド(2)、モルドバ(1)、モンゴル(2)、  
ミャンマー(1)、スーダン(2))



研修最終日：閉講式にて

当財団では、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託を受け、神戸市消防局と協力のもと、「コミュニティ防災(A)研修」を実施しました。

神戸市は、阪神・淡路大震災の際に住民ひとりひとりが「自分たちの命を自分たちで守る」＝「自助・共助」の大切さに気付かされたという経験・教訓から、「防災福祉コミュニティ（以下「防コミ」）」という自主防災組織を立ち上げました。防コミは小学校区ごとに結成され、住民が主体となって、安全で（防災）安心して（福祉）暮らせるまちづくりを目指し、防災活動や福祉活動に取り組んでいます。

本研修は、防コミの概念や活動を学ぶことにより、自然災害に対する防災の重要性を理解し、特に住民主体の自主防災組織を通じた地域コミュニティの防災力を向上させるための知識を身に付けることを目的としています。自国の中央政府・地方政府でコミュニティ防災活動を推進する立場にある 11 名の行政官を迎え、6 週間の研修を行いました。



～研修を振り返って～

研修員達は最初に、阪神・淡路大震災の被害や復興について知るとともに、神戸市の危機管理体制や防災計画、防コミの意義やその成り立ちなどを学びました。



東遊園地の慰霊と復興のコメントを見学し、阪神・淡路大震災に思いをはせました。

また、神戸市消防局の協力をいただき、実際に防コミを訪れたり、訓練やイベントに参加しました。研修員達は防コミメンバーが中心となって防災訓練を行う様子を見ることで、地域の防災意識を高めるための防コミの大切さを実感することができました。訓練参加等を通して、地域住民の方々とも交流することができ、とても楽しく、研修員達にとって有意義な経験となりました。



魚崎町防災福祉コミュニティの取り組みを視察しました。

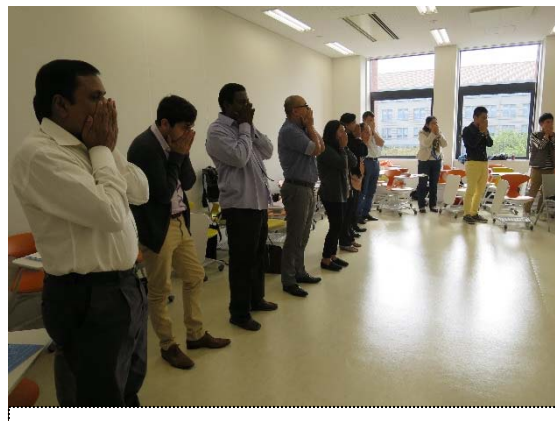


若鷹市民消火隊の訓練に参加し、点呼や放水訓練を体験しました。

自主防災組織を長く続けていくためには、若い住民への防災教育も大切です。研修員達は、楽しみながら防災を学んでもらうための様々なプロジェクトを視察・体験しました。



NPO 法人プラス・アーツの「イザ！カエルキャラバン」について学び、防災体操や防災カードゲームを体験しました。



神戸学院大学で防災ゲーム「防災ダック」を体験しました。

また、研修員達は阪神・淡路大震災を契機に設立された舞子高校環境防災科を訪問し、学校における防災教育や、生徒による熊本地震被災地でのボランティア活動などについて、お話をうかがいました。

研修後半では、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県・岩手県を訪れました。研修員達は語り部の方より被災時の生々しい経験談をお聞きし、震災遺構を見学することで、その被害の大きさと津波の威力の強さを目の当たりにし、災害時に助けを待たず、自ら避難することの重要性を理解することができました。

また、研修員達は市役所の方より被害状況や復興について、地域コミュニティや仮設住宅の方より住民目線での東日本大震災についてのお話をうかがい、まさに災害から立ち直ろうとしている人々の姿に触れることができました。



東日本大震災について、市役所職員とコミュニティのメンバーの方より、それぞれ違った立場からのお話をうかがいました。



仮設住宅の自治会組織を訪問し、復興を目指す住民の方々の取り組みを学びました。

さらに、南海トラフ巨大地震への備えとして、様々な取り組みが行われている徳島県を訪れました。

徳島県南部地域における行政の防災・減災対策や、自主防災組織が行っている住民の取り組みを学ぶとともに、現地の小学生と一緒に防災食を作ったり、研修員が自国で行っている防災訓練を行うなど、楽しく交流をすることができました。



自主防災組織の働きかけにより、地域住民の馴染みの場所となった避難階段を視察しました。



研修員が自国で行っている救助訓練を小学校で披露し、小学生と一緒に実践しました。

最後に、研修員達はこれらの講義・視察で学んだことを、それぞれの国でどのように活かしていくかについて発表しました。この研修を通じて身に付けた知識・経験を、各々の国における地域防災推進活動に活かし、一人でも多くの方が災害から守られることを期待しています。

---

委託元機関：独立行政法人国際協力機構(JICA)関西国際センター

研修指導機関：神戸市消防局予防部予防課

講義/視察先：神戸市消防局/人と防災未来センター/神戸都市問題研究所/神戸市教育委員会/若鷹市民消火隊/神戸市危機管理室/ NPO 法人プラス・アーツ/住吉フェスタ/野島断層保存館/神戸学院大学/魚崎町防災福祉コミュニティ/防災インターナショナル/兵庫県立舞子高等学校/HAT 神戸減災訓練/地すべり資料館/多文化と共生社会を育むワークショップ/SEEDS Asia/ガジヤマダ大学(インドネシア)/兵庫県立大学環境人間学部/世界コミュニティラジオ放送連盟日本協議会/宮城県南三陸町/岩手県陸前高田市/徳島県美波町/本山第一小学校区防コミ/ひょうご震災記念 21 世紀研究機構/マケドニア危機管理センター/神戸クロスロード研究会

(順不同、敬称略)

---



～研修を終えて～



国名：ブータン

名前：Ms. TSHOMO Jamyang (トウーモ ジャムヤン)

所属：住宅文化省 防災局 地域防災担当

Various landscape across the world have their own beauty which has bounded beautiful people together, Japan is one I could see. As the sun set through horizons of beautiful mountains and silent oceans, I still wonder, was it in a dream. Culture and traditions are unique, systems and infrastructures are highly organized, people are highly civilized. The country is very clean and highly developed. I am very much touched with the values and the knowledge I could gain, I feel obliged with what I could learn from Nihon and from my course.

My heartiest appreciation to the loving coordinators for being so welcoming and guiding us till end. I always felt your love and care, I could see sincerity and determination in everything that you all did for us. Thank you so much. To all of colleagues, I highly regard you all for being so helpful. It was memorable moment that I got an opportunity to work as a team.

Lastly I welcome all of you to my country. Although its very small and still in its developing process, I assure that you will never regret coming here because Bhutan has many good things to present. Thank you so much for everything. I will miss KOBE. I will miss beautiful oceans. I will miss beautiful maple trees. I will miss this moment throughout.



#### 【要旨】

日本は、様々な美しい風景と美しい人々が存在する国です。美しい山々と静かな海の水平線への日没風景は、今でも夢のようだったと思っています。文化と伝統は唯一無二で、体制やインフラはよく組織化されており、人々はとても洗練されています。国は大変きれいで、高度に開発されています。私は日本で学べる知識の価値に感動し、日本やこの研修から学べるのが恩恵であると感じました。

私の心からの感謝を、私たちを喜んで歓迎

してくれ、最後まで私たちを導いてくれた方々に申し上げます。私はいつもあなた方の愛と気遣いを感じ、あなた方が私たちのためにしてくれるすべてのことに、誠意と決意を感じました。ありがとうございます。研修の仲間たちは、とても親切でした。彼らとともに、チームとして学ぶ機会を得られたことは、忘れられない思い出となりました。

最後に、私は皆様をブータンに招待したいと思います。ブータンはとても小さく、発展途上ではありますが、たくさんのいいものがありますので、来たことを決して後悔しないとお約束します。

本当にありがとうございました。私は神戸を懐かしく思うでしょう。美しい海を懐かしく思うでしょう。美しいカエデの木々を懐かしく思うでしょう。日本で過ごした時間を懐かしく思い出すでしょう。